

学校便り



学校教育目標

知徳体の調和のとれた品性ある子の育成

—チャレンジいっぱい 笑顔いっぱいの学校—

すすんで考えを伝え合う子

思いやりを形で表す子

粘り強く取り組む子

前期学校評価の結果のお知らせ

晩秋の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、7月に実施しました「保護者アンケート」「教員アンケート」「児童アンケート」について報告させていただきます。

1 保護者アンケート

	お子さんの様子	前期 A+B (%)	前期 A (%)	前年度 後期 A+B (%)	前年度 後期 A (%)
1	お子さんは、学校は楽しいと思っている。	9 6	3 2	9 6	3 7
2	学校は、お子さんのことについて相談に応じてくれる。	9 9	2 6	9 6	3 0
3	学校は子どもの努力を認めたり励ましたりして、温かく接している。	9 7	2 9	—	—
4	お子さんは、授業はわかりやすいと思っている。	9 5	1 9	9 2	2 5
5	お子さんは、10分×学年の家庭学習をしている。	7 2	1 7	7 3	2 5
6	お子さんは自分からあいさつをしている。	8 1	2 3	8 3	2 6
7	お子さんは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	9 2	3 7	9 4	3 7
8	お子さんは進んで体をよく動かしている。	9 1	3 9	—	—
9	お子さんの話や学校からのおたより等で、学校の様子がわかる。	9 4	2 2	9 5	2 4

2 教員アンケート

	評価観点	前期 A+B (%)	前期 A (%)	前年度後 期 A+B (%)	前年度 後期 A (%)
1	児童は学校で楽しく過ごしている。	1 0 0	3 3	1 0 0	2 8
2	児童の様子を把握し、家庭への連絡や相談等、適切な対応を心がけている。	1 0 0	3 8	9 4	4 4
3	日々の教育活動で、子どもの努力を認めたり励ましたりして、温かく接しようと努力している。	1 0 0	5 0	—	—
4	仕事に優先順位をつけ、効率よい働き方になるよう工夫している。	1 0 0	3 3	7 8	6
5	ねらい（育みたい資質・能力）を明確にした授業を行っている。	1 0 0	4 2	1 0 0	2 5
6	児童の伝え合いを大事にした授業づくりを行っている。	1 0 0	4 2	9 4	3 8
7	児童は、話をよく聴いている。	1 0 0	1 0	—	—
8	家庭学習の習慣化を進めるため、宿題の内容を指導・工夫している。	1 0 0	5 4	1 0 0	4 3
9	あいさつ等、児童の自発的な活動を促すような場の設定や指導を工夫している。	1 0 0	2 9	1 0 0	2 9
10	児童は、自分から挨拶をしている。	7 3	1 3	—	—
11	人権を尊重しながら児童の指導にあたっている。	1 0 0	6 4	—	—
12	児童が相手を大切にするように働きかけをしている。	1 0 0	6 4	—	—
13	児童は先生や友達の話最後まで聞いている。	9 3	7	—	—
14	子どもたちは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごせるよう指導している。	1 0 0	3 6	1 0 0	2 9

※－は新項目

15	体育の時間やその他の時間で、目標を持って進んで運動に取り組めるよう働きかけている。	100	58	—	—
16	児童主体の特別活動になるよう、話し合い活動を充実させるよう指導している。	100	8	100	20
17	係や委員会の活動に責任を持って取り組めるよう働きかけている。	100	36	93	29
18	各種おたより等で児童や学校の様子を随時お知らせしている。	93	43	87	20

3 児童アンケート

	自分の様子	前期 A+B (%)	前期 A (%)	前年度 後期 A+B (%)	前年度 後期 A (%)
1	学校は、楽しい。	97	66	97	52
2	困ったことがあったら先生に相談できる。	81	32	80	41
3	先生は、がんばるとほめてくれたり、はげましてくれたりする。	94	56	—	—
4	授業は、わかりやすい。	96	56	96	57
5	自分の考えを相手に伝わるように書いたり話したりしている。	92	41	93	45
6	友だちの話をよく聴いている。	97	55	—	—
7	10分×学年の家庭学習をしている。	86	41	88	46
8	自分から元気にあいさつしている。	90	58	96	67
9	自分にはいいところがあると感じている。	86	36	—	—
10	友だちを大切にしている。	100	79	—	—
11	いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	88	65	85	57
12	目標を持って進んで運動をしている。	93	64	—	—
13	学校や学級をよくするために積極的に話し合に参加している。	93	38	93	50
14	係や委員会の活動を忘れずしっかり取り組んでいる。	98	70	95	67
15	お家の人と学校や社会の出来事について話をしている。	89	64	88	63

※ーは新項目

4 分析と改善策

(1) あいさつ（思いやりを形で表す子）

児童のあいさつに対する肯定的評価は、今年度も90%と高い評価ですが、昨年度の96%に比べてやや低下しました。そこで9月に「自分から元気に挨拶できる児童」を目指し、「自分から言う」「相手を見て言う」「みんなに言う」「相手に先に言われたらすぐ返す」の4つのポイントについて、先生方が見てできている人を挨拶名人カードに記入し、お昼の放送で発表する『挨拶名人』の取組をしました。この取組の結果で、朝のあいさつ、授業のあいさつ、来校者へのあいさつ、帰りのあいさつなどを大切にする児童が増えました。

9月の取組と共に「あいさつの必要性」や「マナー」についてこれまで同様指導していきます。ぜひ保護者の皆様からも心の通い合う挨拶をお願い致します。



(2) 思いやり（思いやりを形に表す子）

「自分にはいいところがある」の肯定的評価は86%であり、1・2年生の肯定的評価が100%あるのに対し、3・4年生が79.8%、5・6年生が82.9%と違いが見られました。発達段階において他者と比較して、自己評価が厳しい傾向にあると考えられます。

今年度は、人間関係づくり（ワクワクタイム）を月に1回行い、お互いを認め合う機会を設けることで、認めてもらえる場があることが児童の自己肯定感を高めることにつながっています。

今後も学校教育活動のあらゆる場で、教師が児童の頑張りを褒め、認め、励まし、その姿を児童が見て、児童同士が褒め、認め合いのよさを実感し、互いを思いやる心を育成していきます。

(3) 伝え合う（すすんで考えを伝え合う子）

教師の「児童の伝え合いを大事にした授業づくりを行っている」100%が、児童96%、保護者95%の肯定的評価につながっています。しかし、「わかりやすい」と答えた児童が96%（Aのみ56%）いる一方、学習に困っている児童が4%いることにも目を向けていかなければなりません。

教師はこれまでのねらいを明確にした授業づくりを継続し、学習面で困っている児童が4%いることも

意識して、一人一人の児童に対応した授業づくりへの努力を続けるとともに、伝え合って深まる授業をさらに目指していきます。

(4) 家庭学習（すすんで考えを伝え合う子）

教師は学年に応じた量や内容の家庭学習を提示していますが、取組の様子には児童によって個人差があります。

学期に1回設けている家庭学習強化週間を大切にし、児童自身には、自分の取組を振り返りよりよくする機会、保護者の皆様には、お子様の家庭学習の様子を確認したり、応援していただいたりする機会として、今後も取り組んでいきます。



(5) 笑顔いっぱいの特別活動（粘り強く取り組む子）

児童も教師も肯定的評価は高いですが、A評価のみで見ると昨年度よりもどちらも低下しました。1学期の段階では各委員会や各学級において司会進行など基礎基本を身に付けていたのではないかと考えています。高学年では、委員会活動で自分の当番を意識し、お互いに声をかけ合って取り組んでいることもあり、評価が高くなっています。教師は責任を持って取り組めるよう児童一人一人に活躍の場を与えていますので、児童は係活動や当番の仕事など一生懸命に取り組もうとしています。

これからは、特別活動の中で話し合う場面を設定し、場面に合わせてどういった意見が必要なのか、話を聞いて相手にどんな反応、言葉かけがよかったのかを評価し、児童を認め、褒めるようにしていきます。児童が当たり前のように頑張っていることをそのままにせず、全職員で児童を認め、励ましていくようにします。児童一人一人の活躍の場を意図的に設定し、責任を持って取り組めるようにしていきます。

5 学校運営協議会より（令和7年10月3日（金））

- ・「挨拶名人」などの工夫により改善が見られ、児童の主体性も育っている。
- ・挨拶に関しては、学校だけでなく、地域でも積極的に行えるように工夫していきたい。
- ・委員会活動や係活動を通じて、児童の責任感が育まれている。
- ・「思いやり」や「尊重」の視点が導入され、児童同士の関係性が良好に感じられる。
- ・「自分も相手も地域も大切にする子ども」をテーマにして熟議したことで、「親子で褒め合い週間」というアイデアなど、様々な意見が出てよかった。
- ・今年度、追加した項目は、今後どのように変化し、影響されていくのか見守りたいと思った。
- ・今年度より「思いやり」を感じてほしい具体的観点を取り入れたアンケート内容となり、良かった。
- ・子どもたち一人一人に目を向け、互いに尊重し合う取組となるよう工夫されている。



今後ともこの結果に満足せず100%を目指し工夫、改善していきます。お子さんのことでご心配やご相談などありましたら、いつでも学校へご連絡下さい。

これからも変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。